

# 緑生瓦版

営業のつばやき

営業の仕事といえは企画書・見積書の作成は当然のことですが、環境調査会社の場合、生き物のことも知っていなければいけません。どうしても広く浅くになりませんが、いちおうひととおりのことはお客様に説明できるように、日頃から心がけるようにしています。

ところで、環境調査の仕事には季節的な繁忙期があります。生き物が相手なので当たり前といえはそうなのですが、生物の活動する時期に業務が集中しています。調査シーズンに入ると、毎日のように社員は調査に出ていきます。そしてシーズンも中ごろになると、だいたい雲行きが怪しくなってきました。そう、営業にも声がかかるのです。現役で調査に出ているのは○年前のこと。さび付いた体に鞭打って、年に何回か現場の手伝いに行くことになりました。これも営業の足しになっています。これと思いますが、体がついていきません。

東京本社（企画・営業）  
麻生薫

2007.11.01

第十一号

## 緑生研究所って、どんな会社…?

### ～ 環境影響評価の巻 ～

#### 生態系の考え方

生態系の考え方として生物学の教科書では「エネルギーの流れ」、「有機物の流れ」、「生物のつながり」の3つが紹介されています。環境影響評価では、比較的イメージしやすく、動植物の調査結果を利用することで効率的に予測評価が行える「生物のつながり」の視点でとらえることがほとんどです。しかし、まとめ方にはきまった形式がまだになく、扱いが難しい項目のひとつとなっています。ここでは、そんな生態系を当社がどのように考え、対応しているのか、その概要をお話します。（調査部 坪山聡）



予測評価の最終的な形を見据えて設定します。（担当者の腕の見せ所です）

- ・事業特性（開発形態、事業計画など）
- ・環境特性（地形、植生など）
- ・社会特性（土地利用、地域性など）

環境類型区分の設定

各環境類型区分における主な動植物の選定

動植物の調査結果を利用することで、効率化を図ります。



図表で整理し、わかりやすくイメージしやすいものになるよう心がけています。

各環境類型区分における食物連鎖の把握

- ・各環境類型区分における食物連鎖の主な構成種一覧
- ・各環境類型区分の食物連鎖模式図
- ・各環境類型区分の生態系の概況（模式断面図）

予測評価の対象となる環境類型区分の抽出

影響のある環境類型区分のみを対象とすることで、効率化を図ります。

選定の「根拠」と「方法」を明確にし、内容をわかりやすく説明します。

注目種の選定

- ・上位性の注目種
- ・典型性の注目種
- ・特殊性の注目種

担当者の知識と経験が問われる部分です。

注目種に対する事業の影響予測

「根拠」と「方法」を明確にし、内容をわかりやすく説明します。

環境保全措置の策定

面積、生息個体数、餌量などの変化

事例の収集や専門家へのヒアリング等により、可能な限り客観性（裏付け）を持たせるようにします。

事後調査計画の策定

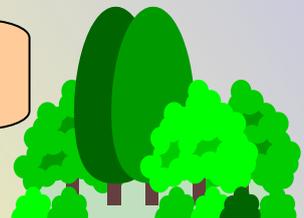
環境保全措置の効果の確認

可能な限り定量的な方法を用いるように、心がけています。

評価



不確実性の高い事項（予測評価の結果）について、対応します。



# 写真だより



アケボノソウ *Swertia bimaculata*

山地の湿った場所などでみられる秋の花で、大きさは2cmくらいです。花びらにある模様が、夜明けの空の月と星にみえることから「曙草」という名が付いたといわれています。

セキヤノアキチョウジ *Rubrosia effusa*

山地の木陰などで、青紫色の小さくて綺麗な花を目にすることが出来ます。秋に丁字に似た花を咲かせることから「秋丁字」、そして本種が箱根に多いことから、箱根にゆかりのある「関屋」(関所の番小屋のこと)を冠したといわれています。



## アンケートのお願い!

Q.「緑生瓦版」のなかで取り上げてほしい内容や、ご意見、ご感想などを教えてください。

差し支えなければ、会社名、所属、氏名をお教え下さい。

会社名：

所属：

氏名：

ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、アンケートの回答は、**緑生研究所(坪山)宛に FAX(042-487-4334)** をお願いいたします。

### 編集後記

お読みいただき、ありがとうございます。  
第十二号は、年明け平成二十年一月一日の発行を予定しています。  
新年号では特集はお休みいたしますが、新年に向けての当社の意気込みをお伝えいたします。

「富有はあごで食べ、次郎は歯で食べ、たねなしは舌で食べる」と言われるのは、秋の味覚「柿」です。富有、次郎などの甘柿や、平核無、刀根早生などの渋柿が有名ですが、実際には千種類以上の品種があり、ちょっと驚きです。  
血液中のアルコール分を排出する働きがあるビタミンCとタンニンを多く含む柿は、これからの季節の必需品と言えるのではないのでしょうか。

コラム

